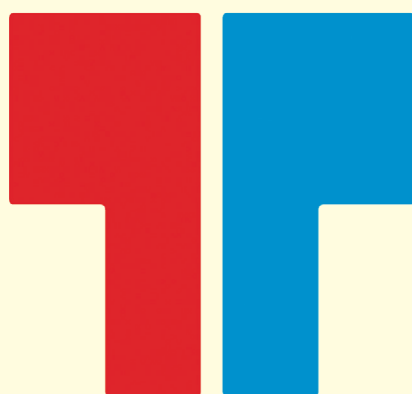




TOKYO
GLOBAL
GATEWAY

2021-2022

東京都教育委員会と
株式会社TOKYO GLOBAL GATEWAYが提供する
東京都英語村

TOKYO GLOBAL GATEWAYがお贈りする 体験型英語学習プログラムの5つの特長

TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG) で楽しめる
英語体験プログラムの特長をご紹介します。

英語が飛び交う非日常な空間で 成功体験が得られる！

イングリッシュ・スピーカーとのやりとりやさまざまなプログラムを通じて、「わかった」「通じた」という英語コミュニケーションの成功体験が豊富に得られます。

児童・生徒8名につき1名の イングリッシュ・スピーカーがずっとサポート！

児童・生徒8名に1名のイングリッシュ・スピーカー（エージェント）が入場時から施設を出るときまで付き添い、英語漬けの環境を体験できます。

小学生から高校生までさまざまな レベルに対応し、みんなが楽しめる！

英語を習いたての初級者から習熟度の高い上級者まで、さまざまなレベルの英語力に対応したプログラムをご用意。みんなが英語を話す体験を楽しめます。

国際機関やグローバル企業、海外の団体等と 連携したプログラムも用意！

国際機関や企業、海外の団体等と連携し、児童・生徒が社会や経済の動態、ダイバーシティを肌で感じ、世界に目を向けるきっかけを提供します。

英語教育の専門家が監修し、 実践的かつ有効なプログラム！

英語教育の専門家がプログラム開発に携わり、また先進的なCLIL（内容言語統合型学習）の考え方を取り入れるなど、英語教育としての品質を保証します。

アトラクション・エリアと アクティブイマージョン・エリアの2エリアで展開！

英語「を」活用！ アトラクション・エリア

日常生活でのコミュニケーションを
さまざまな場面で体験できます。

英語「で」学ぶ！ アクティブイマージョン・エリア

英語を用いて、実践的かつ探求的な学習を、
グループワークで体験します。

⇒プログラム内容については4、5ページをご覧ください。

株式会社
TOKYO GLOBAL GATEWAY
代表取締役社長 CEO

土坂 恭司

着いた瞬間からそこは 英語だけの世界！

近年のわが国を取り巻く状況は、訪日外国人の増加、日系企業の海外進出、グローバル化が一気に進み、日本人の英語習得がますます重要となってきました。

とりわけ、5年後、10年後のわが国を担う児童・生徒にとって、英語は将来のために不可欠な要素となるでしょう。

TGGは、未来のグローバル人材育成の一助となるべく、コミュニケーション・ツールとしての英語を通じ、世界中の多様な人々がつながる「ワクワク」する体験を創造いたします。そして、ご来館いただいた皆様に、英語で「伝わる」感動、「わかる」感動、「協働する」感動を提供いたします。

TGGの特長は、ここに来れば英語を使いたくなる「環境」と「プログラム」です。

ゲートをくぐると、そこはもうグローバル・ワールド。日本を遠く離れた外国に降り立ったような空間に英語が飛び交う世界です。オール・イングリッシュの環境で、ご自身の英語の「力試し」をしていただきます。

TGGで体験するプログラムは、最新の知見に基づいたオリジナルメソッドを開発いたしました。

その環境とプログラムをつなぐ水先案内人として、来場者のグループごとにイングリッシュ・スピーカー（「エージェント」と呼びます）を配し、徹底的に英語でのコミュニケーションを促します。

TGGという異空間で、気がつけば自ら率先して英語を発話し、英語で相互理解が生まれている。この感動こそが「成功体験」として、来場者に「楽しかった。もっと英語が話せるようになりたい」という学習意欲をもたらすものと確信しております。

東京から世界へ。

TGGから世界へ。

英語で「伝わるって、すごい！」という感動を、ひとりでも多くの「未来のグローバル人材」たちに体験していただきたい。それが私たちTGGの願いです。

Facility

施設

3フロア、総面積約7,000㎡の
広大なスケールで展開

施設のフロアマップと各スペースをご紹介します。
エントランスは空港をイメージした空間で
皆様をお出迎えします。



1 リサーチラボ



2 クラフトラボ



3 ジムナジウム



4 サイエンスラボ



5 スタジオA



6 スタジオB



7 クッキングスタジオ



8 テックラボ



9 ジャパニーズカルチャースペース



12 スクールオフィス



13 ブックストア



14 カフェ



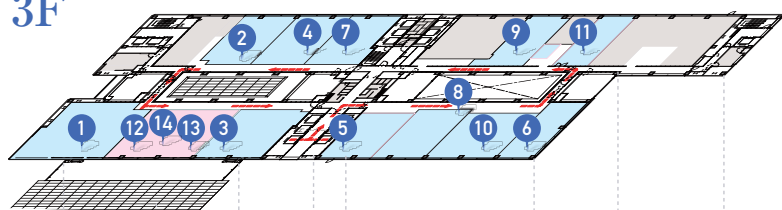
10 メディアラボ



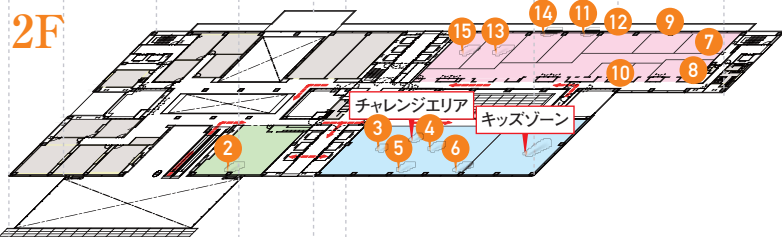
11 オーバースィーズスタディールーム

キャンパスゾーン

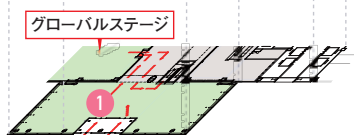
3F



2F



1F



アトラクション・エリア
アクティブイメーション・エリア

2階にはアトラクション・エリア、3階にはアクティ
ブ・イメーション・エリアを中心に展開。
7,000㎡は一般的な学校の80教室分*にもなります。
※イラストは実際の施設と異なる場合があります。
※プログラム可能エリアの総面積に対して、1教室を文
部科学省が国庫補助基準としている74㎡で算出。



1 エントランス



2 テラス



3 ルームA



4 ルームB



5 ルームC



6 ルームD



7 エアブレイン



8 レストラン



9 スペニアショップ



10 グロサリーストア



11 クリニック



12 ホテル



13 トラベルエージェンシー



14 ファストフード



15 ファーマシー

ホテルゾーン
トラベルゾーン

英語教育の専門チームが開発した充実のプログラム！

英語「を」活用する「アトラクション・エリア」と、英語「で」学ぶ「アクティブイマージョン・エリア」のプログラムをご紹介します。

アトラクション・エリア

ミッションカードを使って海外で遭遇しうる多様な場面に挑戦

ここでは、日常生活シーンを想定したプログラム（1ゾーンあたり3種類）を体験。まるで海外にいるかのような擬似空間は、子供たちが積極的に英語を話してみようとトライする気持ちを育みます。（所要時間は1ゾーンあたり約1時間です）

プログラム	初級	中級	上級	3レベルで展開するミッション例
エアポートゾーン	●			・雑誌や飲み物、ブランケットなどのアイテムを入手する。
		●		・状況を説明したり、具体的な描写をしたりしながら、免税品の購入や現地の情報を入手する。
			●	・座席変更をお願いしたり、遅延で乗継便に間に合わないなどのトラブルに対処したりする。
スーベニアショップ Airport Souvenir Shop	●			・サイズや色など、店員に好みを伝えながらおみやげを購入する。
		●		・複数の品物について、具体的に特徴を伝えながら購入する。
			●	・不良品の交換や払い戻しについての要望を伝え、交渉する。
レストラン World Bistro	●			・トッピングやドレッシング、サイドオーダー等も含めて、希望の食べ物や飲み物を注文する。
		●		・料理の具材を抜いたり追加したりして、好みに合わせた食べ物や飲み物を具体的に注文する。
			●	・特定の食材を避けて注文したり、注文した料理がこないなどのトラブルに対処したりする。
ホテルゾーン	●			・部屋のサイズやベッド数、窓から見える景色などの希望を伝える。
		●		・ホテルの部屋への具体的な要望を伝えたり、周りの施設・アクティビティについて尋ねたりする。
			●	・騒音や空調などの不具合で部屋を変更したいという場面などで、トラブルに対処する。
クリニック Get Well Clinic	●			・スポーツをしている時にケガをしたなどの想定でクリニックに行き、痛みや部位などを伝える。
		●		・気分が悪い、熱があるなどといった症状を伝え、医師からの質問に答えて適切な薬を処方してもらう。
			●	・体調不良で受診するが、翌日大事な試験があるので眠くならない薬を処方してもらいたいなどの希望を伝える。
グローサリーストア Gateway Market	●			・希望のサイズや必要な個数を伝えながら、食料品や日用品を購入する。
		●		・食料品や日用品など、欲しいものの特徴を具体的に伝え、購入する。
			●	・クーポンなどを使ってお得に買い物をしたり、不良品の払い戻しを要求したりする。
トラベルゾーン	●			・歯ブラシやばんそうこうなど、日常生活で使用するアイテムを購入する。
		●		・体の具合が悪い、熱があるなどの設定で、症状を伝え必要な薬などを購入する。
			●	・以前処方された薬よりも強いものが欲しいなどの要望を具体的に伝えて薬を購入する。
ファストフード Quick Bite	●			・ハンバーガーとポテトとドリンクなど、それぞれ種類やサイズなどの希望を伝えながら注文する。
		●		・トッピングやドリンクの氷の有無など、具体的に希望を伝えながら商品注文する。
			●	・注文と違うものが出てきたという設定で、要望を伝えて希望通りの食べ物を注文する。
トラベルエージェンシー Global Travel	●			・滞在先で体験したいアクティビティを選び、旅行プランをつくる。
		●		・滞在先でのホテルやレストラン、アクティビティを選び、具体的な旅行プランをつくる。
			●	・限られた予算のなかで、より便利な立地のホテルに変えたり、条件にあったレストランに変更したりする。
キャンパスゾーン		●		・サマーキャンプなどのイベントの日程を確認し、参加申し込みをする。
			●	・キャンパス内のアルバイトなどについて質問したり、希望のシフトを伝えたりして応募に必要な情報を得る。
		●		・授業に必要なテキストや、宿題やプロジェクトで使う文具などを要望を伝えて購入する。
ブックストア Campus Bookstore			●	・授業に必要なテキストを購入したが、履修取り消しのために返品をしたり、交換の交渉をしたりする。
		●		・軽食とそれに合う飲み物などの細かい希望を伝えて注文する。
			●	・購入したタンブラーが割れていたので新品と交換してほしいことを伝える。
カフェ Student Café			●	

※キャンパスゾーンは中学生・高校生が対象です。

TGGでは「初級」「初級+」を英語初学者から英検5級レベル（CEFR-JのA1未満）、「中級」「中級+」を英検5級から準2級レベル（CEFR-JのA1~A2）、「上級」を英検2級レベル以上（CEFR-JのB1以上）と設定しています。



撮影／藤田浩司
TGG プログラム監修者
立教大学経営学部教授

松本 茂

今、英語学習に足りないのは“実践の場”

私は常日ごろ、英語学習にはPICサイクルが重要であるとお話しています。PはPractice（練習）の頭文字で個人の学習、IはInteraction（対話活動）の頭文字で英語を使う練習、つまり学校の授業、CはCommunication（実践）の頭文字で、実際の場面で英語を使う機会にあたります。Cの機会が非常に少ないため、PとIが十分であってもサイクルが機能せずに、日本人の英語力がなかなか伸びない、と主張しています。

アトラクション・エリアでは、海外での生活を疑似体験できます。この実践的な場には、英語の正確さを目指すよりも

英語を使う楽しさを醸し出すための訓練を受けたイングリッシュ・スピーカーが大勢配置されます。子供達には、ぜひ英語を話す喜びを知ってもらい、日々の英語学習意欲を高めてほしいと思います。

TGGのプログラムは、新しい学習指導要領が掲げる目標や指導内容を踏まえています。その上、プログラム内容、設備、イングリッシュ・スピーカーを数多く配置している点など、学校現場ではなかなか実現できない環境がTGGにはあります。授業と連動させて活用していただくことを強くお勧めします。

ここでは、グループで実験したり企画したりと共同作業を通じて、英語で専門知識を身につけられるプログラム（60分／120分）を体験。CLIL（内容言語統合型学習）の視点で開発されたプログラムもあります。専門的知識を身につけたスペシャリスト*1を指南役に行われ、エージェントはサポート役に回って盛り上げます。※下記プログラムについては、3グループ以上でご予約ください。

プログラム	レベル					内容例
	初級	初級+	中級	中級+	上級	
身近なものから効果音を作り出そう	●	●	●	●		効果音を表すときの英語と日本語の違いを学び、音がない映像を見てそこで起きていることや適する効果音等をグループで話し合う。さまざまな素材を組み合わせて独自の音を作り、グループ間で発表し合う。
コマ撮り作品を作ろう	●	●	●	●		コマ撮り作品がどのように作られているのか、どんな動きができるのかを学習する。専用のソフトを使いグループごとでのディスカッションを通して、役割分担をしながらコマ撮り映像を制作し発表する。
ダンスパフォーマンスをしよう	●	●	●	●	●	体の部位や方向、動きなどの語彙をふんだんに使いながらいくつかの基本のステップや体の動きを学ぶ。グループに分かれてディスカッションしながらダンスに合わせて言うチャンツを作成したり、グループの特徴を表すポーズを考えたりして、発表し合う。
演劇をしよう			●	●	●	ボカルトレーニングで声の出し方やシチュエーションに合わせた表現方法（強調、感情表現など）を学び、出される設定に対してセリフを考えペアで実演。即興的に考え、表現豊かに伝える力を養う。
情報やデータをビジュアルで伝えよう	●	●	●	●	●	情報やデータを視覚的に分かりやすく表現するインフォグラフィック。その使い方や効果を学ぶ。統計データを扱ったり情報を整理したりしてグラフや絵などビジュアルに表す技術を身につける。
サバイバル術を身につけよう	●	●	●	●		いざというときに必要なサバイバルの技術や知恵を、ロープ結びなどの実践やアクティビティを通して学ぶ。グループ内で協力して話し合いながらミッションをクリアする。
橋を制作して強度を競おう	●	●	●	●		形や単位に関する語彙などを学びながら、丈夫な橋の骨組みのあり方、長さなどを各グループで考えて橋を作成。グループごとに工夫した部分などを発表し、おもりの使った耐久テストをして、強度を競い合う。
プログラミングを体験しよう	●	●	●	●	●	身の回りにある様々なプログラミングされたロボットについて学び、ロボットなどを実際にプログラミングして思いのままに動かす。グループで方向や速度、距離などを計算したり、どのように修正するかをディスカッションしながら操作したりする。
ニュース取材を体験しよう			●	●	●	記者会見やインタビューなどの取材・記事制作を体験し、グループごとに発表してフィードバックし合う。アクティビティを通して、重要な情報を入手する方法、情報を整理する方法などを学ぶ。
ニュース番組を作ろう			●	●	●	「ディレクター」や「キャスター」など役割分担し、オリジナルのニュース番組を制作する。ニュース番組の構成やニュース原稿の実践的な書き方を学び、専用の放送機器を使って役割分担をもとに撮影する。
マーケティングの考え方を学ぼう			●	●	●	ワークを通して、マーケティングの基礎知識となる「ターゲティング」などを学習する。集めた情報を元に消費者のニーズを分析し、グループごとにどのような商品を開発していくか具体的に考えグループごとに発表する。
おもてなし文化を世界に紹介しよう	●	●	●	●	●	「包む」「折る」「飾る」などで表現される「おもてなし文化」について学習し、紹介するための言い方を学ぶ。各グループでテーマや設定に合わせて制作し効果的な伝え方を考えて練習し、紹介し合う。
日本文化を学んでお茶体験をしよう*2			●	●	●	茶道の基本について学び、実際に茶道具等の語彙を使いながら、お茶をたてる体験をする。その後、グループごとにお茶会を企画し、おもてなしの心を育む。
東京の魅力を紹介しよう			●	●	●	近年の訪日外国人に関するデータなどを通して、「相手のことを知り情報を伝える」ことを学ぶ。都内でおすすみたい場所について情報収集をして、プレゼンテーションを行う。
SDGs 地球の17の目標を考えよう			●	●	●	SDGsの17の課題について様々なシーンの写真から推察し、問題解決に向けたディスカッションを行う。これらの課題が複合的で正解のない問いであることを理解し、自分の問題として捉える素地を養う。
身近な買い物からSDGs目標12を学ぼう			●	●	●	「意思のない消費を続けると地球の資源はどうなるのか」という課題を、買い物を例に学びながら、SDGs目標12や「国際認証ラベル」について学習する。感じたことを効果的・印象的に伝える手法を学ぶ。
地球の未来と森の役割を考えよう			●	●	●	紙の大量消費が木々や動物たちに及ぼす影響をリアルな写真素材とともに学ぶ。立場が異なる当事者になりきり、木と紙をめぐる環境問題の多面性や他者の考え方を理解することを学ぶ。
スピーチのテクニックを身につけよう			●	●	●	身の回りの事柄から社会的な話題まで、特定のトピックについて、グループで効果的なスピーチの構成を考える。デリバリーテクニックを学び、立場や感情の効果的な伝え方を身につけ、実践的に発表力を高める。
日本にいなから留学体験@TGG*3	●	●	●	●	●	クイーンズランド州の学校の授業を現地の現職教員がSTEM科目(理数系)などを素材としてアクティブラーニング形式で行う。海外の授業に求められる発言の仕方やグループワークでの協働力などを育む。
ショートムービーを作ろう	●	●	●	●	●	短い動画の中でどのような伝え方が効果的か学ぶ。また、情報発信者としてのメディアリテラシーについて考えショートムービー作成。専用の動画機材を使って撮影し、工夫した点を発表する。('22年度から)
SDGsの視点から世界の貧困問題を考えよう	●	●	●	●	●	世界で実際に起きている貧困問題に触れ、問題が起こる原因をグループに分かれてディスカッションし、その上で課題に対する自分達なりの解決策を発表する。('22年度から)
日本にいなから異文化理解@TGG	●	●	●	●	●	TGG在籍の多数の国々のスタッフからの情報提供を通して、様々な国の文化や価値観に触れ、自身の文化や価値観との違いを認識する。その上で、認識した違いをどのように受容し、尊重していくかをディスカッションする。('22年度から)

*1 TGGにはガイド役である「エージェント」と専門知識を備えた「スペシャリスト」がイングリッシュ・スピーカーとして児童・生徒をサポートいたします。
*2 2021年度は休止しています。*3 コロナ等の状況次第では提供できない可能性があります。



運営指導委員
上智大学外国語学部教授
和泉 伸一

CLILを取り入れたプログラムでリアルな体験を

TGGでは、CLILという考え方を積極的に取り入れて、アクティブイマージョンのプログラムを開発しています。アクティブイマージョン・エリアでは、英語と同時に専門的知識を身につけることができるプログラムを提供することを念頭に置いています。

例えば、英語でプログラミングを学ぶプログラムでは、スペシャリストは生徒がわかりやすいように、必要な単語や文法のサポートを入れつつ、豊かな交流を通してプログラミングを学んでいきます。そのことにより、実際の行動を伴う場面で「こういう

単語を使うのか」「だからこの文法は重要なのか」と体感でき、英語の学習効果が高まります。まさに一石二鳥のやり方です。

TGGでの半日または一日の活動は、子供達にとって有意義な刺激となり、それを通常の英語授業と絡めていくことで、中・長期的な効果が期待できます。引率の教師にとっても、これからの英語授業へのヒントとしていただければと願っています。

TGGを使って、CLILを取り入れたプログラムを存分に体験していただきたいと思います。

How to use

ご利用イメージ

ご利用日当日の時間割と前後の流れをご案内

英語漬けを実現できる「1日コース」とスタート時間を選べる「半日コース」のご利用例をご案内。ご利用の流れも合わせてご紹介します。

	1日コース (セッション1～4)	半日 (AM) コース (セッション1～2)	半日 (日中) コース (セッション2～3)	半日 (PM) コース (セッション4～5)
8:30				
9:00	入場	入場		
9:30	チーム・ビルディング 9:00～	チーム・ビルディング 9:00～		
10:00	セッション1 9:35～10:35	セッション1 9:35～10:35	入場	
10:30	休憩	休憩	チーム・ビルディング 10:10～	
11:00	セッション2 10:45～11:45	セッション2 10:45～11:45	セッション2 10:45～11:45	
11:30				
12:00		振り返り ～12:20		
12:30	昼食・ランチプログラム 12:00～12:45		昼食・休憩 12:00～12:45	
13:00				
13:30	セッション3 13:00～14:00		セッション3 13:00～14:00	入場
14:00	休憩			チーム・ビルディング 13:35～
14:30	セッション4 14:10～15:10		振り返り ～14:35	セッション4 14:10～15:10
15:00				休憩
15:30	振り返り ～15:55		半日コースのランチプログラム はオプションで承り、別途1,540 円(税込)を頂戴いたします。 ※'21年度は休止	セッション5 15:20～16:20
16:00				
16:30	1日コースには、 ランチプログラムが 付属します。			振り返り ～16:55
17:00				
17:30				
18:00				
18:30				
19:00				

※キャンセルポリシーは予約の際に表示される「施設利用規約」でご確認いただけます。

※「チームビルディング」開始の15分前が集合時間です。
(ご利用人数が多い場合は早めていただく場合があります)

ご利用料金 (学校利用)

都内				都外			
	小学生	中学生	高校生		小学生	中学生	高校生
半日	2,970円	3,190円	3,190円	半日	4,070円	4,290円	4,290円
一日	5,940円	6,380円	6,380円	一日	8,140円	8,580円	8,580円

すべて1名様の税込料金

ご利用の手順

1 ご予約のお申込み

公式ウェブサイト (<https://tokyo-global-gateway.com>) の予約フォームにて必要な情報をご入力し、お申込みください。

2 ご予約完了

お申込みを受付した旨を自動返信メールでお知らせします。後日、TGGより申込書を発送致します。申込書ご記入の上、返送いただきご予約が完了となります。

3 事前のご準備

8人1組にグループ分けをしていただきます。事前学習教材 (PREP BOOK) を、TGGウェブサイト (学校マイページ) よりダウンロードしてご利用いただけます。また、事前学習に利用できる動画もご覧いただけます。パスポート、ネームカード等は当日現地での配布となります。

4 ご来場

利用者全員がそろったところで8人1組に分かれて、いよいよ入場。ご予約いただいたプログラムをエージェントのガイドで体験していきます。

5 ご精算

原則として、ご利用後にご請求書をお送りいたしますので、支払期日内に金融機関へお振込みください。

6 事後のフィードバック

TGGよりご利用当日の活動状況のアンケート結果をお送りいたします。授業等でTGGでの体験の振り返りを行っていただけます。

「学年がバラバラでも対応できるの？」など気になる疑問を解消

TOKYO GLOBAL GATEWAYの施設やスタッフ、ご利用方法などについて、学校関係の皆さまから多く寄せられたご質問にお答えします。

利用方法について

Q 児童・生徒に付き添う人はどのような人ですか。

英語を流暢に操るだけでなく、児童・生徒とのコミュニケーション方法やマナーも十分に教育されたさまざまな国から来日したエージェントが付き添います。キャリアの確認を含め、採用には慎重を期しております。

Q 児童・生徒に付き添うエージェントの採用、研修体制を教えてください。

英語を流暢に操ること・高度なファシリテーションスキルを保持していることを前提に、国籍・年齢・性別にとらわれない多様な人材を採用します。また、採用時の徹底的な研修に加え、着任後も継続的な研修体制を整えていきます。

Q 希望者、クラブ活動等の少人数での利用は可能でしょうか。

可能です。ただし、学校利用としてご利用いただくには原則8名以上で、学校を通じてのお申し込みに限ります。
※「学校」とは、学校教育法第一条に定める教育施設と、それに準ずる施設と東京都教育委員会が認めた施設です。

Q 半日コース、1日コース以外の利用は可能でしょうか。

複数日程でのご利用についてはお問い合わせください。

プログラムについて

Q プログラムの難易度設定を教えてください。

アトラクション・エリアは3段階、アクティブイマージョン・エリアは5段階でCEFR-J^{*}に基づく難易度設定をされたプログラムをご提供いたします。本誌では、それぞれのプログラムに対応レベルを記載してあります。※欧州共通言語参照枠(CEFR)をベースに、日本の英語教育での利用を目的に構築された、英語能力の到達度指標です。

Q 学年・クラスで受講するプログラムは全員一緒ですか。

プログラムごとに収容人数を設定しており、申込人数や当日の予約状況により全員が同じプログラムを利用できない場合があります。ホームページの予約フォームをご参照いただき、グループごとに行程を作る方法となることをご理解いただければ幸いです。

引率教員について

Q 教職員の当日の役割を教えてください。

当日、施設内では「エージェント」が児童・生徒に付き添いご案内します。教職員のみなさまは児童・生徒が活動する様子をご覧いただけます。

利用中の災害対応について

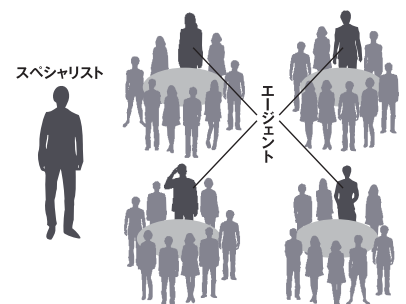
Q 近隣の緊急避難場所はどこですか。

TGGの所在する江東区青海2丁目は、東京都により「地区内残留地区」に指定されており、災害時は広域的な避難を要しない場所となっています。災害時はビル内あるいは地区内にとどまり、その後行政からの指示により移動することが想定されます。

予約について

Q 利用予約はウェブサイトでしかできないのでしょうか。

先着順でご予約を受け付けていますので、原則ウェブサイトからお願いしております。インターネットのご利用が困難等の事情がございましたら、お電話でご相談ください。日程や人数の変更およびキャンセルなどはウェブサイトの「お問い合わせ」または電話でお知らせください。キャンセルポリシーがご不明の際はお問い合わせください。その他、予約画面の操作方法やプログラム（行程表）の組み方など、お気軽にご相談ください。



▲グループは児童・生徒8名とエージェント1名で構成されます。アクティブイマージョン・エリアでは、スペシャリストがすべてのグループを対象にプログラムをリードし、エージェントは各グループをサポートします。



ゆりかもめ「テレコムセンター」駅 徒歩2分
りんかい線「東京テレポート」駅 都営バス約8分
主要駅からの所要時間 新宿駅から約40分 東京駅から約30分 立川駅から約90分



都営バス 海01系統:門前仲町駅 発
都営バス 波01系統:東京テレポート駅前 発
→「東京港灣合同庁舎前」下車すぐ



都心方面から 首都高11号台場線「台場」出口から5分
横浜方面から 首都高湾岸線「臨海副都心」出口から3分
千葉方面から 首都高湾岸線「有明」出口から7分

〒135-0064 東京都江東区青海2-4-32 TIME24ビル 1～3階

施設の利用・予約に関するお問合せは ☎0120-86596-1
受付時間／月～金 9:00～17:00(土日祝・年末年始除く)



TGG

檢 索

名称	株式会社 TOKYO GLOBAL GATEWAY
役員構成	代表取締役社長・CEO 土坂 恭司(株式会社市進ホールディングス常務取締役) 取締役・COO 長尾 素子(拓殖大学商学部教授)

2016年3月	東京都より「英語村(仮称)」事業実施方針及び募集要項を公表
2016年9月	株式会社学研ホールディングス、株式会社市進ホールディングス、株式会社エデュレエルシーエー、一般財団法人英語教育協議会、株式会社博報堂の5社コンソーシアムが最優秀事業応募者として決定
2017年2月	株式会社TOKYO GLOBAL GATEWAYを設立
2018年9月6日	開業